

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型放課後等デイサービス 子供の家(保育所等訪問)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日 ～ 2026年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日 ～ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 13日 ～ 2026年 2月 7日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校場所を選ばず、遠い学校まで支援に出向く。	学校の場所や時間を制限しないようにしている。	職員が交代で支援に携わるようにしていく。
2	学校の行事やイベント等にも見学や参加することで、授業中だけでなく、様々な場面での児童の様子を知っているようにしている。	複数人のスタッフで出向くことで、職員間での情報の共有を図る。	積極的に学校で出向いていく。
3	保護者とのコミュニケーションを密に取っている。	支援後、保護者への報告を丁寧にしている。	学校との情報共有をさらに密にするようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	期間や時間が限られている。	学校での滞在時間内に先生との情報共有が難しい時がある。	学校との連携をさらに取っていく。
2	定期的の実施できていない。	学校行事やテストなどにより、定期的の実施できていない。	学校や保護者と連絡を取り合い、計画を立てていく。
3	経験の浅い支援員のスキルアップが必要。	訪問支援を始めたばかりであるので、経験の少ない支援員がいる。	経験のある支援員からの指導や、研修に積極的に参加していく。